

# 金属団地ニュース





# 11月度月例会（3組合合同講演会）開催

11月26日(月)の13時30分より、組合研修センター3階集会室にて11月度月例会が開催されました。今回は、岐阜県中小企業団体中央会主催による3組合合同講演会として、講師にSOMPOリスクマネジメント(株)サイバーセキュリティ事業本部サービス推進部 上席コンサルタント 西出三輝氏をお迎えし、『中小企業におけるサイバーリスクとその対応策 ～うちの会社に限って・・・は大間違い！中小企業に忍びよるサイバー攻撃の脅威～』をテーマにご講演をいただきました。どこの会社もサイバー攻撃をされる可能性があり、いざ被害に遭った時には、相当の金額と労力が必要とされ、最悪の場合、企業存続を脅かされる事態にもなりかねないそうです。日頃からサイバー攻撃への対策と万一攻撃をされた時の対応を考えておくことが重要であることを強く思わせる講演会でした。



## 油流出時訓練

11月13日(火)正午から環境委員会と青年部合同で油流出時訓練を実施しました。

油流出時下流への拡散防止のため、丸太を利用しオイルフェンスを張り、流出油を回収するというものと、表面の油をオイルブロッカーで回収する2つの方法で訓練しました。

事業所におかれましては日頃から油類の取り扱いには注意されていますが、多くの事故は人為ミスなど不注意から発生します。油はひとたび流れると重大な事故に繋がりがねません。油断大敵、今一度従業員の意識向上・設備等の点検をし流出事故を未然に防ぎましょう。



## 金山神社祭礼と 金山奉賛会総会開催

11月8日(木)10時より、金山神社祭礼が伊奈波神社境内の金山神社で行われ、金属団地からも会員が参拝しました。また11時からは場所を参集殿に移し金山奉賛会の総会が行われ、その後の懇親会では、参加者の近況等情報交換が行われました。



## 組合員親睦旅行開催

今年の組合員親睦旅行は11月16日(金)～17日(土)の1泊2日の日程で伊勢志摩方面に行ってきました。金属団地を8時前に集合、参加者21名を乗せた貸切バスは最初の目的地である伊賀流忍者博物館を目指し出発しました。忍者博物館にある忍者屋敷には至る所に敵から身を守るアイデアが施してあり、とても楽しい建物でした。ただ、屋敷や忍者のことを我々に説明してくれた人も売店の人も台湾出身の女性だったことが、とても奇妙で思わず笑ってしまいました。忍者博物館を出発、丁度お腹も空いてきたところで次に訪れたのは松阪市内にあります海津本店、ここでは松阪牛のすき焼きをいただきました。3年前の旅行で東京の人形町にある今半ですき焼きを食べましたが、それと比べてどうだったのでしょうか?「お肉のお代わりは無いのか?」と笑いを含んだ声が飛び交ったところを見ると、だいたい満足されたように感じました。



お腹が一杯になったところで、歴代天皇をはじめ多くの皇室がご宿泊をされた賓日館を見学した後、この旅行の肝、お伊勢参りの始まりです。内宮にはお参りされる方は多いですが、外宮までお参りをしたことがある方は少ないのではないのでしょうか。夫婦岩がある二見興玉神社から外宮、最後に内宮をお参りするのが正式な順番だそうで、片方だけお参りするのは片参りといってあまりよろしくないという意見もあるようです。しかし今回の我々(観光組)は、正式なお参りをするので、さぞご利益があるに違いありません。二見興玉神社でこれから始まるお伊勢参りの禊を済ませ、夫婦岩で夫婦円満をお願い、外宮では日頃の感謝を伝えてきました。参加をされた方は何をお願いされたのでしょうか、やはり仕事のことでしょうか、一心に手を合わせる参加者の姿がとても印象的でした。今日の観光スケジュールはここまで、我々は宿である『ホテル&リゾート伊勢志摩』にチェックイン、温泉で一日の疲れをとった後、楽しい宴会で懇親を深めました。

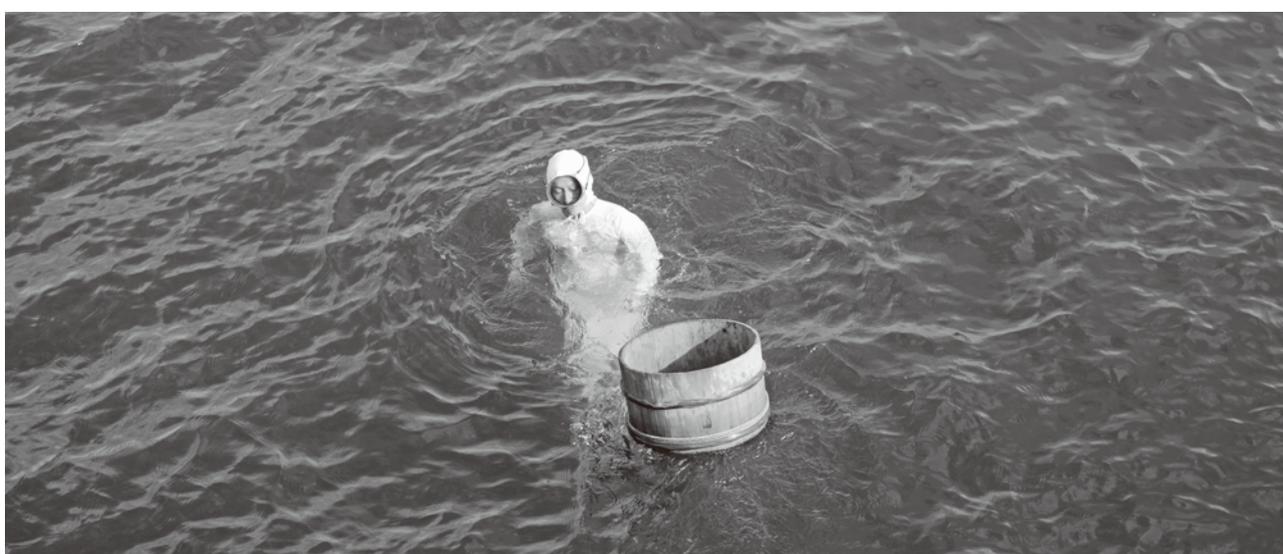


2日目は観光組とゴルフ組にわかれまして。ゴルフ組は7時30分、観光組が朝食会場に姿をあらわす時間にホテルを出発、近鉄賢島カンツリークラブでゴルフをしました。当初は雨の予報でしたが、前日のお参りのご利益か雨にも降られず名門コースを満喫しました。ただ、キャディさんが手配できずセルフプレーだったことと、前の組が遅くてかなり予定時間をオーバーし、観光組に大変迷惑を掛けてしまったことが残念でした。ゴルフの結果はダブルペリア方式で信栄ゴム工業の小栗さんが優勝&ベスグロの完全優勝をされました、おめでとうございます。

観光組はゴルフ組から遅れること約2時間、14名を乗せたバスは鳥羽でも人気の観光スポットであるミキモト真珠島(しんじゅしま)を目指します。鳥羽駅の近くにあり付近には鳥羽水族館や鳥羽湾を巡る遊覧船の乗り場があります。島ですから行き来は橋を渡ります。肝心要のミキモト真珠島ですがその歴史は古く1951年(昭和26年)からレジャー施設として開島。1893年(明治26年)に御木本幸吉が世界で初めて真珠の養殖に成功した事に端を発します。御木本は真珠王とも呼ばれ、あの発明王エジソンとも接点があったようです。そんな彼の生涯を伝える記念館や、真珠ができる仕組みや養殖過程、美術工芸品などを紹介した博物館。そして当時、真珠養殖に欠かせなかった海女さんの実演や(白い磯着の海女の実演はここだけのこと)お土産のパールプラザを見て回りました。中にはウン千万円する真珠もあり、真珠同様に目を丸くしたり、機械が買えるねえなんて声も聞こえました。場所を伊勢海老海鮮蒸し料理店『華月(かげつ)』に移し、少し早い昼食をとりました。メインの蒸し伊勢海老は一人一尾。店員さんに剥きかたのレクチャーをうけ、トゲトゲとアツアツと格闘しながらも大変おいしくいただきました。お腹も膨れ、次は伊勢神宮内宮です。鳥居をくぐり宇治橋を渡り、玉

砂利を踏みしめ参道を進み、手水舎(てみずしゃ)で参拝前に手と口を清めます。ところで内宮は外宮と違い右側通行となっています。はっきりとした理由は分からないとの事ですが、手口を清める御手洗場(みたらしば)が右側(外宮は左側)にあるということも理由の一つとしてあるようです。厳かな気持ちで参拝を終え、おかげ横丁でゆっくり時間を過ごし、伊勢神宮を後にしました。

ゴルフ場で合流した一行は金属団地を目指し出発、途中渋滞にも遭い金属団地到着が予定よりも約1時間遅れましたが、事故なく無事帰ってこられました。来年も組合員親睦旅行を行う予定ですので、今年参加していただけた方は来年も、参加されなかった方はぜひ来年はご参加下さい。



## 組合会館内(旧クリオネ)に梅園茶屋がオープン♪

和菓子屋と茶房が融合したお店、「梅園茶屋」が組合内にオープンしました。

お薦めメニューは「お煎茶と和菓子(500円)」、「お抹茶と和菓子(500円)」。

その他にコーヒー、紅茶はもちろん、抹茶ラテ等を取り揃えております。

どら焼きをメインに焼菓子、季節の生菓子等も取り揃えております。

「和」を基調とした落ち着いた雰囲気ですので、お客様との打合せ等にもご利用下さい。



### お歳暮、新年のご挨拶、手土産に「どら焼き」、お薦めです。

一番のお薦め商品は、日経新聞の『どら焼きベスト10』で全国6位を獲得したどら焼きです。

一枚一枚を丁寧に焼き上げたふつら生地に栗を沢山入れた手作りの粒餡とバターを絶妙なバランス。

お客様への手土産、贈答品として如何ですか。



どら焼き 1個/150円

どら焼き 贈答用(箱詰) 10個入	1700円
どら焼き 贈答用(箱詰) 15個入	2500円
どら焼き 贈答用(箱詰) 20個入	3300円
どら焼き 贈答用(箱詰) 25個入	4100円
どら焼き 贈答用(箱詰) 30個入	4850円



どら焼き贈答用 10個入/1700円

- 前日15時までのご注文で翌日店頭でお渡しが可能です。\*火曜日のみ13時
- ご注文はご来店、お電話、FAXの何れかで承ります。
- ご希望先への配送も可能です。

\*贈答用のどら焼き代(単品150円)の他に包装と箱代が含まれています。

\*週末、祝日は店舗休業日の為、金曜日のお渡し、もしくは月曜日のお渡しとなります。

### 茶道入門教室、イベント等も開催♪

今後、茶道の心得や入門編の教室やイベントも予定しています。

なかなか敷居が高いと思われる茶道を気楽に楽しんで頂ける教室です。

嗜みとして知っていて、けして損はないと思います。

春に向けて第1弾を企画中です。

広報等でご案内させていただきますが、ご期待下さい。



電話 058-383-7151

FAX 058-383-7131



(平日9:00~17:00/定休日:土曜、日曜、祝日)  
各務原市金属団地173 (協同組合内 1F)



## ゴール! ～童話「ウサギとカメ」から学ぶこと～

冬のアウトドアアクティビティといえば、やはりスノーリゾート。

スキーに代表されるウィンタースポーツは、どんなに時代が変わっても、人々に愛され続けている。しかし、ひとたび事故が起きると、楽しいはずの時間は一転する。

スノーボードを始めて間もない頃、目の前でスキーヤーとボーダーの接触事故が起きた。その際ゲレンデパトロール中のボーダーが、適切にその事故について処理している姿を見て、自分も人の為に人の役に立つ人間になりたいと思った。

学生時代、学校が海の近くということもあり、波のある日は(授業をサボって)サーフィンをしていた。卒業し就職すると、当時休みは週1しかなく、その貴重な休みの日に波がヒットするのかさえ分からない状態が出かけ、そのほとんどが波もなく、海に入ることなく帰ることが多かった。いつしか海に行くことも遠のき、冬になると仲間はスキーをしに山に行く。誘われたが連れに教わるということに強い抵抗感があった自分は、当時スノーサーフィンと呼ばれていたスノーボードを始めることにした。周りの仲間はほとんどがスキーヤー。中には兄貴が指導員、検定員の奴までいた。そんな仲間と一緒に滑っているうちにちょっと今までとは違う感覚を覚えた。それは今まで自分のしてきたスポーツは全て結果・技術が感覚的なものだった。サッカーでは勝ち負けはあるもののチームプレーであり、個人の上手い下手は抽象的というか主観的なもので、波乗りをしていてもその上手さは決して客観的ではない。どちらかというとなんかきさせず曖昧にすることで自分自身を擁護してきたのかもしれない。でも逆に確かなもの(資格など)があれば全てははっきりする。そう思いスノーボードを始めて2年目にバッジテスト【滑走レベルをチェックする技術認定テスト】を受けた。(2級とか合格したら今まで曖昧だった自分の滑りがはっきり評価されるし、みんなから上手いと言われる。)しかし、そんな気持ちもバッジテスト合格発表時もなくも崩れ去った。今まで大小あれど試験という試験には必ず合格してきた。生まれて初めて「不合格」「落ちた」という現実を目の当たりにし、とても落ち込んだ。

検定員の『本日初めて受検された方、自分の技術を過信しています。そう、勘違いしています。自分の今の技術を再確認し、より技術向上出来るよう、もっと練習に励んで下さい!』何だかグサッとくる言葉だった。

生まれて初めての不合格。本当に落ち込んだ。でもその時に思った。受検する立場(受検生)より見る立場(検定員)、教わる立場(生徒)より教える立場(先生)になろうと。

その後、何回もダメ出し不合格を繰り返し、落ち込みながらも受検し続けた。最初はサーフィンのオフトレにと、軽いノリで始めたスノーボードだったが、いつの間にかインストラクター、検定員、パトロール、セッター、旗門審判員、タビュレーター(計時計算員)などの資格を取るようになった。だが、今思えば何の為にここまで頑張ってきたのかよく分からなくなってきた。資格はたくさんあるが、それがどうした?って感じで、ゲレンデではその効力を発揮するものの、日常生活には全くと言っていいほど何の役にも立たない。

パトロールの資格を取り、冬の間スキー場で非常勤にて勤務することもあった。しかし、当時の支配人から言われたことは『傷病者や具合の悪い人がいても余計なことはしなくていい』というものだった。目の前に傷病者がいても手当てしてはいけない(手当て出来るのは医者だけ)。消毒も薬も使わない。頭が痛い、風邪をひいたみたいだと言われても、薬も渡してはいけない。後々クレ-

ムがくることを恐れてのこと(リスクヘッジ)なのだが、それってパトロールの存在意義ってあるのか疑問だった。人として目の前に人が倒れていたら、困っている人がいたら、手を差し伸べ、助けてあげるのが人として当たり前のことなんじゃないかな?と思った。

そういえば、最近見たドラマの中でイソップ物語「ウサギとカメ」の話が話題になっていた。足の速いウサギと足の遅いカメが競争を始める。最初はウサギが勝っていたけれど、余裕だと思ってサボって昼寝をしていたら、その間に休まず努力したカメがウサギを追い越し、カメが勝ったという話。

『どうしてウサギはカメに負けたのか?なぜカメはウサギに勝てたのか?』

子どもの頃から有名な話で、能力が低くても一生懸命頑張って努力することで、能力が高い人をも超えることができるという物語。「勝負はやってみなきゃ分からない!」、「諦めずに取り組みば結果はついてくる」、「勝負は手抜きしちゃいけない!」などといった、子どものときも大人の時も、何かにつけて教訓として引用される童話の1つ。しかし、このドラマの主人公の解釈は少し違っていった。

『先に行って、寝て休んでいるウサギにカメは追いついた。でもどうしてカメはウサギに声をかけなかったのか?もしかしたらウサギは体調を崩して倒れているかもしれないのに』と疑問を投げ掛けます。そして、その後こう言います。

『カメは競争にも勝ち負けにもあまり興味がないのです。カメはただ前に進むことが楽しいのです。地面を這いつくばって前に進むカメにしか見えない世界、地面から数センチの世界、その素晴らしい世界を楽しむためだけに、カメはただ前に進むのです。カメの世界には、もはやウサギの存在はなく、寝ているウサギに声を掛けなかったのもそのためです。』

この物語の肝はウサギとカメそれぞれは“どこを見て”走っていたのか?

ウサギとカメは、見ている所が違っていった。ウサギは、カメを見て、カメはゴールを見ていた。ウサギは競争相手であるカメばかりに気を取られ、ゴールを見ていなかった。だから、ノロノロとやってこないカメに、油断してしまった。ゴールを見て、そこに辿りつくために走っていれば、ウサギはきっと休まずゴールを目指し努力した。けれどウサギが見ていたのは自分の競争相手であるカメ。そのカメが走るのが遅いから「まだ大丈夫」と思ってサボった。一方カメは、ゴールを見て走った。ウサギが速いからといって焦るわけでもなく、ウサギが寝たからといって自分のペースを変えるわけでもなく、自分がゴールをするためにその為だけに走った。だから止まらない。周りは見えない。ゴールしか見えていない。「見ているところが違った」からこそ、この結果になった。

ウサギは他人を基準にし、カメは自分の目標を基準に生きている。その「生き方の違い」がこの童話の解釈の本質だと感じた。「他人を見て」走って生きるのはダメだと。

カメのように、ゴールを見据え、ゆっくりでもいいから周りのことは気にせず、マイペースで頑張ったらいい。そうやって努力していると、必ずきっと誰かが見ていてくれる。

『ウサギは、カメを見下すために走るんです。自分はスゴイって証明したいんです。』

ドラマの主人公がヒロインに言ったひとことだが、何だかグサッとくるセリフだった。

今まで自分はウサギのような生き方をしていたんだなと。

雪坊主

## 設備導入 株式会社 共和鋳造所

### 砂再生処理設備

#### 【導入された部門】

フラン自硬性プロセス部門 このプロセスは、砂にフラン樹脂を混練し、酸性系の硬化剤と化学反応させ、強制的に鑄型成形するプロセスです。

#### 【導入した設備】

導入した砂再生処理設備 (SCMB-45H) は、フラン自硬性プロセスで成形した砂型強度を阻害する3大要素を一括で解消する事が出来る様、磁選装置・サンドリクレーマー・バグリング集塵がセットになった総合的な設備です。

では、3大要素とは、

- ①鉄分 工程内で混入した鉄分は、酸性系の硬化剤濃度を下げ、鑄型強度を劣化させる。
- ②イグロス 再利用する砂表面に付着した樹脂が、砂の粘着性を阻害する。
- ③微粉 砂の破損等により発生した微粉が、樹脂の混練斑を引き起こす。

#### 【導入したメリット】

- ①再生砂の成状が安定する為、樹脂・硬化剤の混練比率を低減できる。
- ②鑄型強度が上がる為、表面安定剤である塗型材の使用量が低減できる。
- ③塗型材の減少は、砂再生時に微粉として回収される為、産業廃棄物が低減できる。

### ショットブラスト

#### 【導入した設備】

導入したショットブラストは、砂型から取り出した鑄物製品の表面に付着した砂を、細かい鉄球を照射し、取り除く機械です。導入機は、従来の機種を高さ方向に延長した専用機で、投射ユニット6基 (中央2基は可変駆動式) 自転・変高式のクレーンユニットを搭載しています。

#### 【導入したメリット】

- ①全高が上がった事により、1テーブル/1バッチが2テーブル/1バッチの処理が可能となり、生産効率が1.5倍に向上した。
- ②中央部のユニット2基を可変駆動式とし、自転・変高式と組み合わせる事により、ショット投射範囲が広がり、投射時間の短縮が出来る。
- ③5m以上の長尺製品は、外注委託から内製化に移行できる。

### キュウボラ除湿送風装置

#### 【導入した設備】

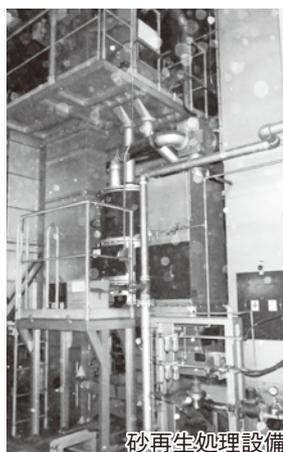
キュウボラ溶解において、大気中の湿度はコークスの燃焼効率を低下させ、材質の不安定要素となります。その為、湿度の高い梅雨場は、プラント間の除湿器 (冷凍機) により、湿度を50%以下に管理し、送風していましたが、従来のフロンガス式の除湿器は、フロンガスの製造中止と装置の操業規制が厳しくなり、実質的に使用困難な状況になりました。そこで今回入れ替えた装置は、業界初の試みで、簡単に言えば、巨大な“水取り象さん”の様なシリカゲル方式の除湿器です。

#### 【導入したメリット】

- ①定期的なフロンガスの補充が必要ない。
- ②シリカゲルが半永久的に使用出来る為、追加費用がない。
- ③構造がシンプルな為、維持管理費が抑えられる。



キュウボラ除湿送風装置



砂再生処理設備



ショットブラスト



# JIMTOF 研修旅行 ～前編～

青年部の「JIMTOF 研修旅行」が11月3日～5日の日程で開催されました。3日は移動し懇親会、4日はJIMTOF 視察、5日は静岡カントリーでゴルフという行程でした。まずは、JIMTOF までの前編をご報告いたします。

今回の参加者は青年部から9名。私自身は初の青年部旅行となり、持ち物から服装まで未知の世界。ほとんど岐阜から出た事がないので妙な緊張感がありました。

新幹線の中では、明日のJIMTOFの事や製造業界に関する話等々、ビール片手に談笑し、あっという間に品川駅に到着。東京土産は行程上ここで買うのがベストと言うことで、品川駅では30分程お土産タイムとなりました。

人がごった返す中、とある先輩がお目当のお土産店を探し、ほとんどの方がその店でお買い物。人気店という事も有り、なかなかの行列でした。この旅行に参加できるのも日頃の従業員のがんばりや家族の支えがあってこそ、みな日頃の感謝をこめお土産を購入しました。

さて、お土産タイムも終わり駅を出ようとした所で、ちょっとしたハプニング。乗車券が見当たらない方が…。一時はどうなる事かと思いましたが無事見つかり別ルートで来た方々ともホテルで合流する事が出来ました。

懇親会ですが外国人客も目立つ渋谷のとある焼肉店で行われました。お酒も入り美味しいお肉を食べ、最高のひと時でした。なかには、別メニューで1日限定10本のレバー1本焼きを、しかもラスト1本を食した方もいました。勿論、厨房で炙って調理しているので噂の「あかんやつ」ではなかったですよ。そして、懇親会を終えた青年部会員は更なる親睦を深めるべく夜の大都会へと姿を消していくのでした。

2日目はバスでJIMTOF 会場である東京ビッグサイトへ向かいました。バスから会場が見え、そろそろ降りる準備でもしようかと思っていたのですが、なかなか止まる気配がありません。結局、会場を通り過ぎ裏の遠い遠いバス専用の駐車場で降りる事となりました。流石に正面入口まで歩くには時間がもったいないこともあり、裏入口で集合写真をパシャリ。ここからは集合時間まで自由行動でしたが、私を含め2名は3日目を不参加の為、みなにお別れの挨拶をしてJIMTOF 会場へと足を踏み入れました。

会場は本当に広いです。隅から隅まで回っていたらとてもじゃありませんが1日では時間が足りません。さすがアジア最大級の工作機械見本市です。会場マップ片手に、事前に目星を付けていた工作機メーカーや工具メーカーを中心に見て回りました。世間では工作機メーカーはとても忙しいという噂を良く聞きましたが、まさにそれを反映するかのごとく、広々としたブースで出展されていました。来場者もとても多く感じましたが、日曜日はまだマシな方だった様です。とある出展者さんに聞いたら金、土曜日の混み具合は本当に酷かったらしいです。

さて、次回のJIMTOFは2020年の12月との事です。東京オリンピックも終わっている時期ですね。統計的に見ると開催国はオリンピックが終わった後景気が悪くなると言われています。この時の世界経済、日本経済はどの様になってるでしょう。先の事はよく分かりませんが、日々精進して行こうと思いました。(次号へつづく)



## ゴミ拾いを行いました

環境委員会との合同油流出時訓練後に毎年恒例となっている、三井川周辺のゴミ拾いを11月13日(火)に実施しました。

今年も当たり前のように空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻、弁当の容器類、靴等、大小さまざまなゴミが落ちていました。

一人一人が環境美化に関心をもち綺麗な金属団地を保ちましょう。



### 情報ファイル

人口減少・少子化のなかでの“新規学卒等採用達成”のために その4

## 『岐阜かかみがはら産業技術学園(仮称)』構想の提案 その1

先月号では、各務原市の近隣に所在する理系教育機関の“社会人教育”の内容等について紹介させて頂きました。今回は、これらの理系教育機関を活用(ネットワーク化)した“教育の仕組みづくり”についての私の思い(県内企業で働く工業高校卒業生たちのための願い)を提案させて頂きます。

今年度の新規高卒の求人活動は過去最高の求人倍率となり、各企業におかれましても、大変厳しい状況であったのではないかと推察しています。県内の工業系高校においても、愛知県や首都圏の企業からの求人数が大幅に増え、県外(愛知県)就職率も30%台の半ばまで上昇している状況です。なぜ、岐阜県の工業系高校生は愛知県の企業を目指すのか?その要因のひとつが“企業内学園保有企業への就職”です。愛知県にはトヨタ系企業を主に19企業が企業内学園を保有しており、入社後1年間(2年もあり)全寮制で専門技術・技能教育を行っています。平成29年度には、県内の7校の工業高校(中津川工高を除く)から計81名の優秀な生徒たちが就職をしています。また、九州地区や四国地区、東北地区など、全国の工業高校からも多くの優秀な生徒たちが愛知県に就職をしています。

愛知県のトヨタ系マンモス企業に対抗して、県内の一企業が企業内学園を保有することは厳しい状況かと思えます。しかし、岐阜県の優秀な高校生の愛知県企業への流出を食い止めるために、また、愛知県の企業に就職をしている全国の若者の“流れ”を岐阜県(各務原市)に呼び込むために必要な事は、若者にとって魅力ある『教育の仕組み』を岐阜県(各務原市)につくることだと思います。

幸いなことに各務原市近隣には、5つの理系教育機関が集積しているという地の利(宝物)があります。この理系教育機関を活用(ネットワーク化)して、アネック・ステクノ2を校舎(本部)とした『岐阜かかみがはら産業技術学園(仮称)』を創設して、市内・県内企業に就職した若者の技術教育・技能訓練を“チーム岐阜・チーム各務原”として組織的に行う教育の仕組みづくり(次頁の図を参照)を提案します。





## 安藤内科医のコラム特集

### (雑学ネタ①)

定年などにより、暇を持て余すようになることを英語でKill Timeというんですが、依存症回復施設ではボランティア活動に費やす時間というのはもっとも貴重な時間だということを指導してるみたいですね。自分の為ではなく、誰かの役にどこかでなっていることを認識できその上色々な人との交流が芽生えることを挙げているようです。確かに患者さんでもボランティア活動をされてる方はいきいきしてますね。参加するだけでなく、まず自分が考えて、例えば自分の家の周りのゴミ拾いなど一人で行い、その後仲間が増えて清掃範囲が増えうれしかったということも聞いたことがあります。

### (雑学ネタ②)

忠告はめったに歓迎されないというイギリスの政治家の話。又巧言令色鮮なし仁という孔子の言葉。君子の交わりは淡きこと水のごとく、凡人の交わりは甘きこと甘酒の如しでしたっけ。表面的な褒め言葉はダメにつながり会話の難しさを表現してますね。会社でもトップはともかく上司、先輩後輩というあいだでは「こんなこと言われたんだけどどう思う？いいアイデアない？」といった相手を思いやる気持ちがあふれた会話で理解がしやすく会話が広まると言われます。勝手な判断を抑えた注意ですが、そこまで相手を思いやり、お互い理解してというのは本当に難しいですね。これも努力ですかね。

### (雑学ネタ③)

五木さんの「孤独のすすめ」の終盤に「心のリタイア」という言葉があります。働きづめの人生を一度振り返り、「よりよい生活とは何なのか」考えてみましょう。

その中に最たるものとして「社会貢献」が出てきます。その例として年金、そんなのいらない。稼ぎがあるからという話が出てきます。そんな人生送っている人はどんな気持ちで、どういう貢献をしてみえるのでしょうか。恥ずかしながら色々削除されながら今までの納付金に比べればわずかな年金をいただいている私も放棄する気にはなった事はありません。余程社会貢献という意識が強い方たちなんではないでしょうか。

あそこまでは無理でも近いところまで頑張ってみるかと考えた時前向き志向に向かい、ハリのある生活を送れるかもしれませんね。勿論周囲に迷惑をかけない程度ということでしょうか。今一度人生振り返ってみましょう。

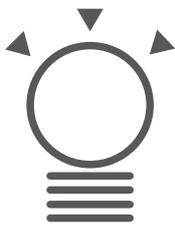
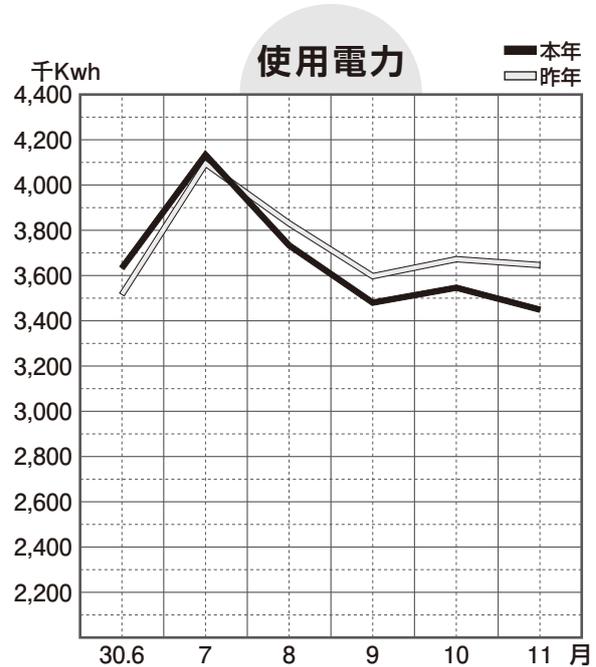
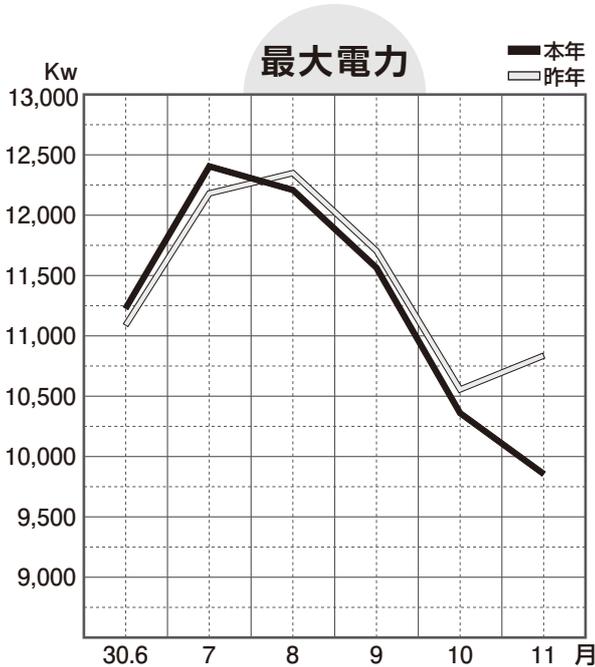
### (雑学ネタ④)

貝原益軒でしたか「凡人をもって人を許すべし。凡人をもって我が身を許すべからず。」というのがありましたね。自分には厳しく相手には寛容というのは私のような凡人には難しいことですね。人に寛容になってお互いがお互いの力の無さを認め合うために聞き上手になることが必要なんではないでしょうか。その結果相手の長所を確認しより良い交流が出来るために褒め上手になることも必要でしょう。家内にも後輩にも部下の関係の中でも取り入れる必要ありと思いませんか。

安藤内科医の記事を転載



## 平成30年11月分電力使用状況



## 電気は正しく使いましょう!!

### 電気ストーブの仕組み

電気ストーブは、その仕組みによって大きく分けると3つの種類があります。それぞれの種類を見ていきましょう。

#### ◆輻射式

ヒーターを使って赤外線を作り出し、この赤外線を放射することによって特定の人や物を温めます。輻射式は空気ではなく人を直接温めるため、ピンポイントを温めるには非常に効率的な暖房器具といえます。

#### ◆温風式

ヒーターを温めた空気を温風によって周囲へ広げるタイプです。

構造的にはヘアドライヤーと同じです。輻射式と比較すると空気を暖めることから効率が悪い暖房器具といえます。

#### ◆対流式

熱伝導を利用して空気を暖め自然対流を生み出し、部屋全体を暖めるというタイプです。

燃焼を伴わないため空気を汚すことなく、ファンがないため乾燥も起こしません。自然な暖かさで熱くなりすぎず注目の一品といえます。

火事に気をつけ寒い冬を快適に過ごしましょう。

# 行事予定

2018 **12** December

<b>16</b> 日	
<b>17</b> 月	月例会・役員会
<b>18</b> 火	
<b>19</b> 水	
<b>20</b> 木	役員忘年会
<b>21</b> 金	
<b>22</b> 土	『組合休日』
<b>23</b> 日	『天皇誕生日』
<b>24</b> 月	『振替休日』
<b>25</b> 火	
<b>26</b> 水	
<b>27</b> 木	
<b>28</b> 金	仕事納め
<b>29</b> 土	『組合休日』
<b>30</b> 日	『組合休日』
<b>31</b> 月	『組合休日』

2019 **1** January

<b>1</b> 火	『元日』
<b>2</b> 水	『組合休日』
<b>3</b> 木	『組合休日』
<b>4</b> 金	『組合休日』
<b>5</b> 土	『組合休日』
<b>6</b> 日	
<b>7</b> 月	仕事初め
<b>8</b> 火	南宮大社初詣、神事並びに新年互礼会
<b>9</b> 水	
<b>10</b> 木	
<b>11</b> 金	
<b>12</b> 土	『組合休日』
<b>13</b> 日	
<b>14</b> 月	『成人の日』
<b>15</b> 火	

## ■ 1月・2月の行事予定

1月20日 回 金属団地ボウリング大会	1月26日 回 団地G
2月9日 回～13日 回 海外視察研修(タイ)	2月18日 回 月例会・役員会
2月23日 回 団地G	

## ■ 11月度金属団地ゴルフ会

11月24日 回 美濃関カントリークラブ  
優勝 山村容弘(山村製作所) 2位 洞田オサム(ホラタ、工業) 3位 森田吉久(テクノ共栄)

<http://www.g-mecca.jp>

# G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

